

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2018.10 >

BULLETIN

2018年7月～2019年6月



| | |
|--------|---|
| 国際会長 | Moon Sang Bong「私たちは変えられる／挑戦への勇氣」(韓国) |
| アジア会長 | 田中博之「アクション／誇りと喜びを持って」(東日本区) |
| 東日本区理事 | 宮内友弥「為せば、成る／ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」(東京武蔵野多摩) |
| 関東東部部長 | 衣笠輝夫「良いものを見つけ、つなげて、よくなるう」(埼玉) |
| クラブ会長 | 佐野 守「希望を持って前進」(グリーン) |

会 長 佐野 守
副 会 長 西澤 紘一
々 浅見 隆夫
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
副 会 計 浅見 隆夫
担当主事 木村 卓司

10月 収穫感謝祭

大地は作物を实らせました。

神がわたしたちを祝福して下さいますように。

(詩編67:7)

<大地に実った作物を見て、私たちもその行動で実を結んでいけるよう、
神さまに祝福を祈りましょう>

2018年10月 第一例会

日時:2018年10月17日(水) 18:30～20:30

場所:東陽町センター 1階 YMホール

江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565

受付:布上君/司会:柿沼君

開会点鐘 佐野会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古 平 君
ゲスト、ビジター紹介 佐野会長
食 事(一言添えてニコニコ献金)

ゲスト・スピーチ 紹介 樋口君
青木 勝彦氏
演題「映画に魅せられて・私の記憶の名画」

神田川船の会報告 目黒君
YMCA 情報 木村君
Happy Birthday(高谷メン・古平、柿沼メネット3名)

閉会点鐘 佐野会長

EMC - E 強調月間



今月の強調課題はクラブ拡張 つまり「新クラブ作り」です。

グリーンクラブが所属する関東東部としては2年前より部の事業委員会としてEMC委員会を立ち上げ「クラブ拡張(E)・会員増強(M)維持啓発(C)」について根幹の問題点は共通していると考え活動してきました。その中で、「新クラブ作り」については前期には展開地区の絞り込みを行い、船橋地区を第1候補としました。その理由としては①千葉YMCAの地域デポがあるのでYMCAとの協働が図れる②過去にワイズメンズクラブが存在していた地区なので認知が得易いのでは。③住民人口も増加傾向の地区である等が主な事項でした。今期は千葉YMCA総主事、部EMC事業主査、千葉クラブキャビネットほか等で数回の会合が持たれ、今後は千葉クラブがスポンサークラブとして中心になりまずは「土壌作り」から活動を展開していく計画です。是非、関東東部の会員はもとより広く全国のワイズメンからの船橋地区に在住する友人・知人の紹介を期待しております。

しかし、奉仕クラブはロータリークラブはじめその他多くのNPO等も存在しており、その中でワイズメンズクラブが差別化を計っていくには、まずは今月の強調月間に際し「ワイズは素晴らしいクラブ」だと友人、知人らに胸を張って自分の後ろ姿を見て貰えるワイズメンであるかを、会員自身で自問自答をしてみる機会でもないと捉えていただければ幸いです。

元関東東部EMC事業主査 柿沼敬喜

【例会出席率】 在籍:18名 メーキャップ 2名

出席率 15/18 83%

出席:9月 計18名

(メン13名、メネット1名、ビジター4名)

【ニコニコ】 9月例会 17,000円

＜2018年09月 第一例会報告＞

日時:2018年09月19日(水) 18:30~20:30

場所:東京YMCA東陽町センター YMホール

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・木村・古平・佐野・高谷・西本(東)・西本(晃)・布上(征)・目黒・森川 ネット:布上(信) 14名

ゲスト:佐野和夫先生(スピーカー)・及川栄子先生
沖利柯館長・山田嘉之さん・軍司純江さん(YMCA)



本日のゲストスピーカーは佐野和夫先生。クラブ佐野会長の紹介でお話をさせていただくことになった。すでに今年5月の「午餐会」で講演をされて大変に好評であったのを、グリーンクラブの少人数例会にお招きして申し訳ない事と思いましたが、先生のご厚意に甘えた次第です。

佐野先生は現在(一社)日本知的障害者水泳連盟会長で、いただいた略歴を拝見して、ここに書ききれないほどのキャリア、肩書をお持ちです。「野尻学荘」のリーダーとしてご活躍。慶大工学部卒、東大工学博士、NKK在職中から一貫して水泳のコーチ、監督を歴任、(財)日本水泳連盟専務理事、同会長を歴任、アジア水泳連盟副会長、国際水泳連盟理事と世界の水泳界に幅広い人脈をお持ちで、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会委員をされ、現在に至ります。

「東京五輪・パラリンピック2020への道」と題しての講演はスクリーンに映し出されるリオパラリンピックの動画を拝見しながらの進行となった。パラリンピックの競技内容や種目は大方の人は理解していないと思う、また、実際に競技を見に行った人も少ないと思う。

青・赤・緑の三色の曲線が中心を囲むように組み合わさったパラリンピックのシンボルマークは「スリー・アギトス」。アギトスとはラテン語で「私は動く」の意味で、マークは「動くことの勇氣」を象徴する。

リオで開催されたパラリンピックには、肉体と精神を鍛え抜き、厳しい条件をクリアした4000人以上のアスリートが170を超す国・地域から集った。リオ・オリンピックでは28競技306種目で熱戦が繰り広げられたが、パラリンピックは22競技528種目。同じ条件のアスリートが競うことができるように、同じ競技でも障害の内容によってクラス分けさ

れているため、種目数はパラリンピックの方が圧倒的に多い。日本からは17競技に132人が参加し、メダル獲得を目指した。

視覚障害や肢体不自由といった障害別、また身体の部分のどのよう動かせるといかなどをもとに、陸上競技は177種目、水泳は152種目。あまり細かく分けるとメダルの価値が低くなるという意見がある一方で、クラス分けを少なくすると障害の程度の異なる人が競うことになり、公平性が保てないことにもなる。

佐野先生の分野である「水泳競技」の画像をふんだんに拝見させていただいた。

他の競技でも日本のメダル獲得数は健常者のオリンピックでのメダル獲得数と比べて少なく、今後の選手の活躍を大いに後押しし、期待したいところ。細分化されたメダルの数が多いことは獲得するチャンスもあるという事。

パラリンピックについての質疑応答をさせていただき、なるほど、と納得する話題も多々あった。

「午餐会」での講演より相当に短く編集して、例会卓話として纏めていただいた内容は大変興味のある動画ばかりであった。2020年のパラリンピックのTV中継を楽しみにしたい。

10月13日の神田川船の会、乗船者募集状況、今回はやや少な目であるが9月一杯、なおPRを継続していく。本日のニコニコは17,000円となった。(布上 記)

＜2018年09月 第二例会 報告＞

①8月25日(土)東京YMCA夏まつり<無事終了>
10:00東陽町集合。

フランク焼き 仕入れ 250本 午後2時完売

売上約 34300円/利益約 17205円(寄贈)

参加 青木・浅見 T・柿沼2・佐野・布上2・木村

(にほん語学院から学生のヘルプ1名参加)

②9月9日(日)京都部会参加

京都パレス・熱海・グリーンのトライアングル締結式

参加 青木・浅見 T・柿沼・佐野・布上

<厳粛に調印式/部会 430人参加>

③9月23日(日)

第32回インターナショナルチャリティーラン

東陽町コミュニティーに支援金(10000円)

グリーン役目 場内警備・荷物預かり 6名参加

④9月29日(土)関東東部部会 日本バプテスト教会

13:30 受付 5000円 参加者 青木・浅見 T・浅見 K・

柿沼・佐野・布上 S 6名

⑤10月6日(日) 第22回ワイズネットのつどい

/郡山キリスト福音教会/参加者:青木・布上 2名

⑥第78回神田川関連 中間報告 目黒実行委員長

⑦平林正子メン 2019/08 未まで体調不良により休会に。

⑧例会卓話・行事 予定

10月17日(水) 例会 青木 勝彦 氏 (樋口メン紹介)

「映画に魅せられて・私の追憶の名画」

11月21日(水) 例会 西澤メンに候補者を一任、了承

12月19日(水) 例会 クリスマス例会【銀座ライオン

(本店)で開催・西本メン予約】

2019年 1月23日(水) 新年例会【蔵前 大新

鍋料理に決定】プログラム委員予約

(布上 記)

(DBC) 京都部部会に参加して

第23回 京都部部会

It all the way to remember



2018年9月9日(日) DBCの京都パレスクラブがホストする第23回京都部部会がグランドプリンスホテル京都にて盛大に和やかに挙行された。



この部会に際してかねてよりDBCのお付き合いをしている京都パレスクラブ・熱海クラブ・グリーンクラブの3クラブで正式に「トライアングル締結式」を行うことになった。



田中アジア地域会長の立合いによって部会が始まる前に3クラブだけで締結式を行った。田中アジア地域会長からは、

来年、仙台で行われるアジア地域大会に、我々3クラブがそれぞれIBCを結んでいるマニラ・ダウンタウンクラブを交えて4クラブで「四角形 Quadrangle」の締結式を企画したい旨、提案があった。重く受け止めねば。

部会は流石に盛大で、台中からのIBCクラブ、西日本区37クラブ、東日本区からは熱海・沼津、グリーンの3クラブ。そして京都パレスクラブの53名、総勢430名の部会、本当にいつもながら圧倒されるワイズの隆盛である。

司会進行の佐藤弘樹氏はFM京都のパーソナリティー、流石本職で、ワンポイントイングリッシュの講演も行い、大いに会場を沸かせた。

グリーンクラブ参加者：佐野会長・浅見副会長・柿沼会計・布上書記・青木メンの5名。日帰り新幹線の出張でした。

(柿沼 記)

第32回 TOKYO YMCA

インターナショナルチャリティーランに参加して



新参者の私にはYMCAの行事参加はすべて初めてで、チャリティーランもその一つ。

購入したブルーのユニホームを着て木場公園に到着。イベント会場に行くまでに熱気球の試乗会に大勢の子供たちが順番待ちをしていました。会場で準備が開始され、その手際の良さ、若者たちの活躍には目をみはるばかり。

グリーンクラブの役割は主に荷物預かりですが、その場所が隅のほうで目立たず7~8名の高校生ボランティアの荷物を預かっただけで開店休業でした。アナウンスもお願いしましたが、状態は変わりませんで、申し訳ないようなボランティア。本番前の子供ランは小学生に交じって幼児も元気よく走り参加賞をもらっていました。

12時10分、いよいよチャリティーランの開始、今年は49チームの参加でした。「東京グリーンクラブと北ワイズメンクラブ」協賛のチームはエントリーNo.40です。結果は1位がNo.13「し の の め こ ど も 園」、我々のチームは41位でした。

YMCAの先生方が走るとひととき応援がすごく、伴走者と走る障がいのある選手にも熱い応援です。1位のチームのタイムは24分弱、みんな燃えるのですね。表彰式はステージで行われ応援をして下さる多くの企業から賞品が送られました。



そしてラッフル大抽選会です。当たらないだろうと思ってはいても、もしかしたらと欲が出ます。なんと青木メンと森川が当たりました!! 賞品は青木メンが動物毛布、私がリュック。

グリーンから提供の10/13 神田川船の

会ペア乗船券2組・4名の当選者は山手センターからの学生さん藤木さん組と八王子クラブ久保田さん組に当たりました。おめでとうございます

ワイズメンズクラブの模擬店でのかき氷、水餃子、焼きそばも完売とのことでした。グランドの後片づけは若い諸君におまかせして、私達はグリーンだけの打ち上げ会場、木場駅近くの「サイゼリア」へ。恒例のワイン痛飲です

荷物番お手伝いの吉田司さん、中村周三さん、クラブの皆さん、夕方までお疲れ様でした。布上メネット、おいしいお弁当有難うございました。クラブ参加者：青木・柿沼・布上N・布上S・森川の5名

(森川 記)

第22回関東東部 部会に参加して

～良いものを見つけ・つなげて・よくなる～



2018年9月29日(土)部会は日本パプテスト浦和
キリスト教会の礼拝堂(3F 会堂)を会場として行われた。

実行委員長小関京子メン(所沢クラブ)の司会で
第1部開始。山崎純子メン(川越クラブ)のピアノ
伴奏でワイズソング斉唱、聖書朗読・開会祈禱は渋谷
弘祐メン(所沢クラブ)、衣笠輝夫関東東部部長(埼玉
クラブ)の部長挨拶があり、歓迎挨拶として同教会
の廣島 尚牧師がお話をされた。

来賓挨拶は宮内友弥東日本区理事、小谷全人埼玉
YMCA 総主事がされた。続いて関東東部事業主査の報
告。東 裕二地域奉仕・Yサ事業主査、金丸満雄EM
C事業主査、渋谷弘祐国際・交流事業主査、山本剛
史郎東日本区ユース事業(代)、青木清子メネット事業



主査の皆さんの
報告があった。

この第1部と
並行して同時
刻、別の部屋で
ユースタイムが
行われている。
そこでの司会役
は大久保知宏メ

ン(宇都宮クラブ)と大澤和子メン(川越クラブ)。

本日の目玉企画は第2部のパネルディスカッション。
パネラーは都市Y学生ユースリーダー・関東学
生Yユース・教会に集うユース・YMCA スタッフ・ワ
イズメンズクラブの5ブロックから2名ずつのスピー
カーが発言した。それらの報告事項に関して出席
者をAからHまでの10名程度の小グループに分けて
ワイズメンとしての印象、評価、提案、等々討議を
した。その纏め報告は第3部で行うことに。

全員の記念撮影のあと第3部の懇親会となった。
ユース関連の討議の纏めを報告。和やかな雰囲気
の内にアピールタイム。東日本区大会(東京)、アジア
地域大会(仙台)、各クラブのアピール。教会内の懇親
会なのでアルコールはご法度だったが、大いに食
べ、ジュースでも十分に宴会気分を味わってもら
った。閉会挨拶では金丸満雄次期関東東部部長(ひが
しクラブ)がしっかり締めてくれた。90名弱の出席。

グリーン参加：青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼
佐野・布上の6名(佐野 守 記)

YMCA コーナー

▼ 西日本豪雨災害の被災者支援活動として、広島
YMCAが全国YMCAに協力を呼びかけ、8月から
9月にかけて5回にわたりワークキャンプが実施され
ました。

東京YMCAからは9月10日～14日にスタッフ2
名を、9月24日～28日にスタッフ2名とボランティ
アリーダー2名を派遣し、家屋の泥出し等の作業を実
施。また、10月27日～28日に実施される被災児童
を対象とした「リフレッシュキャンプ」にも、東京
YMCAのボランティアリーダー6名とスタッフ1名
を派遣する予定。引き続き全国YMCAが協力し
て、2,500万円を目標に募金活動を継続している。

現在、東京YMCAには500万円を超える募金が
寄せられています。

▼9月15日、恒例の「国際協力一斉街頭募金」を新
宿駅周辺で実施しました。各部署から会員、ワイズ
メン、学生、メンバー、スタッフなど、総勢196名
が集まり、街頭で募金協力を呼びかけました。

寄せられた213,467円は、バングラデシュYMCA
が運営する働く子どもたちの学校で学ぶ児童など、
現地子どもたちの教育支援に用いられます。

▼9月23日、障がいのある子どもたちへの支援と理
解を広げることを目的とした「第32回インターナシ
ョナル・チャリティーラン」を都立木場公園で開催
しました。

48チーム、伴走者を含めて約300人のランナーが
競技に参加。またレース前の「こどもラン」には幼
児・小学生450人とその保護者を合わせて約700人
が参加。多くのボランティアにも協力をいただき、
来場者は総数1,500人を越え、にぎやかな大会とな
りました。

益金は、東京YMCA、及び全国YMCAが行う
障がいのある子どもたちを支援するプログラムのた
めに用いられます。

▼今後の主な行事日程

- ・西日本豪雨支援募金 10月19日(金)11:30-
13:30 場所：東陽町駅前交差点
- ・第20回日本YMCA大会 11月23日～25日
(日本YMCA同盟東山荘)
- ・西日本豪雨災害復興支援チャリティーゴルフ
12月5日(レイクウッド総成CC)
- ・クリスマスオープンハウス 12月23日(日)
場所：東陽町センター

*オープンハウス、グリーンクラブは例年通り
フランク焼きと甘酒の模擬店を提案したい(布上)

(主事 木村卓司 記)